

品川区議会議員 区政報告

日本共産党



# おくの晋治

区議控室：〒140-8715 品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818 Fax：03-3778-3088

区政報告について、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。  
ホームページ：<http://www.jcp-shinagawa.com/>

## 予算特別委員会（1定）、決算特別委員会（3定）で、 学校給食費の無償化など 義務教育の完全無償化に進むよう

### 提案



4月22日放送、NHK「首都圏情報 ネットドリ！」、「家計を圧迫?! どうするコロナ禍の“教育費”負担」

1 先週も触れた3月の  
予算特別委員会。私  
は、14日、「教育費」を  
取り上げた際に、品川区  
で「義務教育の完全無償  
化」を目指すことを提案  
しました。昨年10月12日  
の決算委員会での私の

提案を再び行いました。

諸外国に比べて国が教  
育にかける予算があまり  
に少なく、家庭負担が重  
すぎて、希望する人数の  
子どもを持ってないとい  
う実態が日本にあること  
は、さまざまな調査で何  
度も明らかになっている  
からです。

2 この問題が先日、N  
HK総合テレビでも  
取り上げられました。

4月22日に放送された  
「首都圏情報 ネットドリ！」  
という番組の「家計を圧  
迫?! どうするコロナ  
禍の“教育費”負担」と  
いう回です。

放送された内容は、  
「Webリポート」とし

おくの晋治プロフィール：1956年愛媛県松山市生まれ。愛光学園中学・高校、東京大学法学部卒。塾講師・家庭教師、品川区議団事務局を経て、2018年9月初当選。現在2期目。西五反田在住。趣味は映画・演劇鑑賞。山田洋次が大好き。

て「公立中学で入学時13万円出費も！教育費見直す学校や家庭の最前線」と題して、NHKのホームページに掲載されています（<https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/2022-0422b.html>）。

番組では、まず、埼玉県内の公立中学校を例に、授業料、入学金がなくても、教育費として、給食費、制服、教材費、通学費用、部活費用など多くの費用がかかる実態が示されます。

そして、文科省の調査などを元にこれらの費用が近年さらに増え、コロナ禍で負担感が増している実態を明らかにします。

その上で、これらの負担が本当に必要なのかと見直しの動きが始まっていることを伝え、学校事務職員・柳澤靖明（やなぎさわ やすあき）さん

が見直しのために導入した方法などを紹介し、見直しが各地で広まっていることを伝えました。

文科省の調査を元にした教育費の家庭負担についての図表



	2010年	2018年
通学用品費 （小学1年生）	39,123円	53,047円
学級費・児童会費 （小学1年生）	4,140円	7,534円
給食費 （中学1年生）	35,655円	43,786円

憲法26条が子どもへの「教育を受ける権利」保障のために「義務教育は、これを無償とする」と明記し、法律は前述した諸費用を有償とも無償とも定めてないのですから、自治体の判断で無償とできるはずだと提案しました。

区は、ざっとした計算で20億円ほどの予算が必要になることをあげ、税金の使い方として適当でないとして拒否しました。

しかし、たとえば、上記図表で4万円前後とされている中学生の給食費は、品川区では6万円を超えます。「給食費の無償化」の必要はより大きいと言わなければなりません。

都心・品川低空飛行の羽田新ルート計画は撤回を

日本共産党